

補候補4人新現

立候補者 (敬称略) 午前9時現在

※右から届け出順。立候補者名の
下は年齢(投票日現在)、職業、所
属政党、現新別、当選回数。



知事選告示、28日投開票

内堀 雅雄 54 知事 無所属 現①

〔略歴〕東大経済卒。知事。副知事、県企画調整部長、県生活環境部長、同次長、総務省地方債課理事官。長野県出身。福島市杉妻町5の55
〔政見〕①避難地域の復興・再生②ふくしまプライドの確立③復興・創生期間後の組織・制度・財源の確保④子育て支援策など人口減少対策

金山 屯 78 自営業 無所属 新

〔略歴〕青山学院大経済2部卒。設備工事業自営、自然塾「白河乗馬学校」代表。東京ガス町田サービス店勤務。東京都出身。白河市新白河1の133
〔政見〕①県庁を郡山市に移転②会津からいわきに至る広域平和都市建設実現③全基廃炉が決まった広大なエリアを普天間飛行場の代替地として提供

高橋 翔 30 会社経営 無所属 新

〔略歴〕都立多摩工高電気科卒。アルストロメリア経営。東京都出身。葛尾村葛尾字広谷地137の1
〔政見〕①ベンチャー起業家支援の予算確保と庁内の環境整備②オンライン学習や多国籍学級指導で子どもの多様性を育む③浜通り原発観光地計画推進

町田 和史 42 政党役員 無所属 新

〔略歴〕福島大行政社会卒。日本共産党県委員長。同書記長。「しんぶん赤旗」福島県記者。埼玉県出身。福島市渡利字七社宮10の6
〔政見〕①国や東京電力に県民の立場でハッキリともの言いを、全国に原発ゼロを発信②学校給食費無料や教材費への支援を強め、子ども医療費無料を継続

任期満了に伴う知事選は11日告示され、届け出順にいずれも無所属で、現職の内堀雅雄氏(54)＝福島市、新人で自営業の金山屯氏(78)＝白河市、新人で会社経営の高橋翔氏(30)＝葛尾村、新人で共産党県委員長の町田和史氏(42)＝福島市。4人が届け出た。現県政の評価、復興の針路、人口減少社会での県づくり、国政との向き合い方などを巡って17日間の論戦がスタートした。投票は28日に行われ、即日開票される。

内堀氏は、自民、公明、国民民主、立憲民主、社民各党や連合福島、無所属県議などの支援を受け、全県で組織戦を展開する方針。町田氏は共産党の推薦を受け、同党県委や県労連でつくる「みんなで新しい県政をつくる会」が支援する。金山、高橋両氏は特定の政党や団体の支援を受けず、それぞれの政策を訴える。

「18歳選挙権」が導入されて初めての知事選で、若者世代の関心を引き付けられるかも焦点になる。